

# 地域の防災対策の検討のための ワークショップと防災訓練の設計

照本 清峰<sup>1</sup>

<sup>1</sup>和歌山大学防災研究教育センター

E-mail: [terumoto@center.wakayama-u.ac.jp](mailto:terumoto@center.wakayama-u.ac.jp)

東海・東南海・南海地震が発生すれば、沿岸部では津波による激甚な被害、中山間地域では土砂災害によって多くの地域で孤立することが予測される。また観光地においては、来客者等の土地勘の少ない外部からの訪問者の避難の問題が生じる。これらは東日本大震災でも多くみられた現象である。そこで来たる東海・東南海・南海地震に向けて、被災想定区域では、それぞれの地域特性を考慮した防災機能のあり方とその実現方策の検討がすすめられている。ここでは、津波被災危険区域、中山間地域、観光地を対象として、それぞれに取り組みられている住民参加型ワークショップとそれに基づく防災訓練設計の内容及び課題を報告する。

キーワード：津波避難、孤立集落、観光地防災、防災訓練、ワークショップ